

令和5年度 自己評価報告書

1. 本園の教育目標

- ①健康な心と身体を育てる。
- ②創造性を培う。
- ③豊かな感性を育てる。
- ④社会性を培う。
- ⑤言葉の正しい発達を促す。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

子どもたち一人ひとりを尊重し、教職員全員で保護者との連携を重視した教育の実践を目指す。

◎課題

幼稚園と保護者との連携を重視し、状況に合わせた保育を最大限充実させ、実践をする。

◎具体的な取り組み方法

今年度の目標を元に、世の中の状況に合わせ、幼児に対して環境・安全面・保育内容・保護者への対応等、一つ一つ丁寧に教職員全員で協力をし助け合いながら共通理解をし、保育を進めていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育に対しての保育者同士の共通理解	A	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、最良の保育が出来るように、職員会等、保育者同士の話し合いを深め、共通理解をした上で保育を進めていく事が出来た。 ・学年ごとの指導計画を一年を通して、教職員が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行いつつ、幼児に寄り添った保育を進めていくことが出来た。 ・遊具の使い方、使用するにあたっての保育者の考え方等、幼児の育ちや時期を考えての遊び方の見直しを、教職員全員が共通理解をし、保育を進めていく事が出来た。
2	教育の質の向上のために、園内研修や、年間を通して、教職員全員参加の職員会議を充実させる	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質の向上が目指せる、最良の保育が出来るように、教職員同士で一日一日の保育の話を充実させる事が出来た。 ・夏休み中に、園外の研修会に参加したり、園内でもさまざまな研修をやり、保育内容や幼児が園で生活をするにあたっての向上に努めた。 ・行事の前後に、クラスや学年の経過報告や、反省等を職員会で伝え合う事で、教職員全員が、協力をし合い、保育内容の向上や幼児の姿に合った保育や対応をする事が出来た。 ・毎朝夕の職員会、毎週水曜の職員会を実施し、共通理解をすると共に、園全体の保育の充実が出来た。

3	保護者への対応と保育理解	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園長による勉強会、面談、懇談会での話、教育相談、カウンセリングの充実 ・園外の講師による講演会 ・教職員によるワークショップ ・教職員によるトイレトレーニングのアドバイス対応 ・延長保育の実施 ・未就園児親子(無料)実施(5月～12月) ・新園児親子教室実施(1月～3月) ・月々の園だより、クラスだより、園長&ゆかり通信、絵本だより、その他の手紙、貼紙、掲示、懇談会、参観等を通して、園の保育の方針を保護者に伝え、保育に対しての考え方を丁寧に伝える事が出来た。 ・今年度は、能登半島地震での、災害への募金活動を行う中で、幼稚園と家庭で考えていけるように、保育理解をしていただく事が出来た。 ・行事、その他の保護者へのアンケート(感想)を通し、保育の見直しを教職員全員で話し合い、共通理解をすると共に、その物事に対しての保護者との対応を丁寧にする事が出来た。 ・教職員及び保護者・幼児の健康と安全を守るため、除菌など、毎日の衛生面に努め、保護者からも理解をしていただく事が出来た。 ・その都度、対策を職員会で考慮し、安全安心に保育を最大限充実させるように取り組む事が出来た。
---	--------------	---	---

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合評価

評価	理由
A	<p>3つの評価項目について、年間を通して教職員全員が、目標に対しての意識を持ち、皆で協力をしながら、一つひとつ丁寧に、取り組む事が出来たから。</p> <p>その結果、幼児一人ひとりを尊重し、教職員全員で、保護者との連携を重視した教育の実践をすることが出来たから。</p> <p>今後も、より良い教育の質の向上に向け、継続して、実施していく事を、教職員の全員が共通理解をし、来年度に向けて、臨む事が出来たから。</p>

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園と保護者との連携を重視し、状況に合わせた保育を最大限充実させ、実践をする。	今年度の目標を元に、幼児に対して、環境、安全面、保育内容、保護者への対応等、一つひとつ丁寧に、教職員全員で協力をし、助け合いながら共通理解をし、保育を進めていく。

令和6年3月27日(水)に、園長の指導のもと全教職員で自己評価を行った。
(年間を通じて実施した保護者アンケート・年間を通じて実施した教職員反省会の記録も参考にした)